

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 財団の管理・運営

寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金指定）・ヤングスチール株式会社からの寄附金（ヤングスチール(株)奨学金指定）・個人3名からの寄附金（現地支給奨学金指定）を受け入れました。

会議の開催

第33回理事会 (令和4年6月2日)

決議事項：令和3年度事業報告・決算報告・公益目的支出計画実施報告、
選考委員会委員選出、評議員選定委員の選任、評議員候補者の推薦、
内部通報制度規程の制定、第28回評議員会の招集

出席者：理事7名、監事2名

第28回評議員会 (令和4年6月17日)

決議事項：令和3年度事業報告・決算報告・公益目的支出計画実施報告、
理事の選任（再任7名）、役員定例報酬額の決定、評議員候補者の推薦

出席者：評議員6名、理事1名

第7回評議員選定委員会 (令和4年6月17日)

決議事項：評議員の選任（再任3名）

出席者：評議員選定委員5名、理事1名

第34回理事会 (令和4年6月17日)

決議事項：理事長選定、常務理事選定

出席者：理事6名、監事1名

第35回理事会 (令和5年3月3日)

決議事項：令和5年度事業計画・収支予算、令和5年度奨学生選考（52名）、
第29回評議員会の招集

出席者：理事7名、監事2名

第 29 回評議員会 (令和 5 年 3 月 17 日)

決議事項：令和 5 年度事業計画・収支予算

出席者：評議員 5 名、理事 1 名

内部統制の整備

(「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備)

使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制を整備するため、令和 4 年 6 月 2 日開催の第 33 回理事会において内部通報制度規程の制定を決議し、役職員が法令違反その他コンプライアンス上の問題を内部窓口のほか外部窓口（弁護士）に直接相談・通報することのできるヘルプライン制度を創設した。

II. 奨学金支給事業（継続事業 I）

留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金【月額 10 万円】

支給人数：2021 年度生【期間 2 年間】13 名、2022 年度生【期間 1 年間】15 名

(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金【月額 6 万円・期間 1 年間】

支給人数：2022 年度生 20 名

ヤングスチール(株)奨学金【月額 6 万円・期間 1 年間】

支給人数：2022 年度生 1 名

現地支給奨学金【年額 1 万 5 千円】

支給人数：ベトナム 4 名、ミャンマー 4 名、カンボジア 4 名、ラオス 4 名

現地奨学生選考会 中止

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、各国・各地域の委託事務所・大使館及び後援団体と協議の結果、予定していた選考会は全て中止となりました。

事業名	開催予定日
奨学候補生現地（カンボジア）選考会	令和 4 年 8 月 21 日
奨学候補生現地（ベトナム）選考会	令和 4 年 8 月 23 日
奨学候補生現地（マレーシア）選考会	令和 4 年 9 月 15 日
奨学候補生現地（インドネシア）選考会	令和 4 年 9 月 17 日
奨学候補生現地（ミャンマー）選考会	令和 4 年 9 月 29 日

選考委員会の開催

第30回選考委員会（令和5年2月20日）

奨学金対象校から推薦のあった応募者365名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金25名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金25名、ヤングスチール(株)奨学金2名の合計52名を2023年度奨学生候補者として選考しました。

Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業2）

出版物の発行

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.29』、情報誌『アジア文流 Vol.51、52』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（増第10版）』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.23』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

就職支援

日本での就職を目指す留学生（当財団の奨学生、奨学生OBOG）を対象に個別相談等の就職サポートを行い、利用者2名のうち1名が起業・1名が内定獲得しました。

Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業3）

コンテスト 中止

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、各国・各地域の委託事務所・大使館及び後援団体と協議の結果、予定していたコンテストは全て中止となりました。

事業名	開催予定日
第25回「日本体験コンテスト in 大韓民国」	—
第23回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト」	—
第20回「日本語体験コンテスト in 成都」	—
第10回「日本語体験コンテスト in プノンペン」	令和4年8月21日
第15回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」	令和4年8月23日
第8回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」	令和4年9月15日
第9回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」	令和4年9月17日
第12回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」	令和4年9月29日
第10回「日本語体験コンテスト in バンコク」	令和4年10月1日

研修会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、奨学生研修会が中止となりました。

開催された研修会においては、留学生・日本人学生が訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、体験学習などを通して、日本の文化・歴史・自然について理解を深めました。

2022 年度 共立国際交流奨学財団奨学生研修会 中止

参加予定者：2021 年度財団奨学生 13 名、2022 年度財団奨学生 15 名

2022 年 9 月 北海道・釧路研修会

協力団体：株式会社丘の上わくわくカンパニー

開催地：北海道 釧路市、鶴居村

開催期間：令和 4 年 9 月 1 日～5 日 4 泊 5 日

参加者：留学生 18 名、日本人学生 1 名

内容：鶴居村民泊・ホームステイ（2 泊 3 日）、阿寒湖遊覧船、
アイヌ古式舞踊鑑賞、釧路湿原散策など

2022 年 9 月 沖縄県・東村研修会

協力団体：NPO 法人東村観光推進協議会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：令和 4 年 9 月 1 日～6 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 38 名、日本人学生 1 名

内容：ホームステイ（2 泊 3 日）、琉球ガラスづくりなど
（台風の影響によりカヌー体験、塩づくり体験中止）

2023 年 2 月 北海道・小樽研修会

協力団体：NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト

開催地：北海道 余市町、小樽市、札幌市

開催期間：令和 5 年 2 月 19 日～23 日 4 泊 5 日

参加者：留学生 24 名

内容：ホームステイ（1 泊）、余市エコビレッジ共同生活（1 泊）、
ソリ・ロープウェイ体験など

2023 年 2 月 沖縄県・伊江島研修会

協力団体：一般社団法人伊江島観光協会

開催地：沖縄県 伊江島

開催期間：令和 5 年 2 月 26 日～3 月 3 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 36 名、日本人学生 4 名

内容：ホームステイ（2泊3日）、首里城復興ボランティア活動、カヤック体験、
紅いもタルト手作り体験など

助成金の支給 **中止**

日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

例年、専門学校・短期大学・大学・大学院に在籍する日本人学生を対象にアジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し、採用された企画に助成金の支給（一口 15 万円）を行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により企画案募集は中止となりました。

V. 日本語教育施設の設置及び運営

カンボジアのシェムリアップに設立した合弁会社 Hikari-Kyoritsu International School co.,Ltd において、日本語教育を実施しました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館 2 棟の管理及び運営を、また全国 7 地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・京都・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。